



# 栗原小だより

～学校教育目標～  
よく考え学ぶ子  
心のゆたかな子  
たくましい子

新座市栗原 1-5-1 ☎042-473-7070

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>



令和3年度 11月号

令和3年 11月2日

## 「勢いよく突き進んだ 本気前進 栗原小」の運動会

校長 大井 敏彰

10月30日に「2年ぶりの運動会」が開催されました。今年度は感染防止対策として、規模を縮小しての実施となりました。保護者の皆様にはいろいろとご不便をお掛けしましたが、事前の準備や当日の応援など、ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。学校としても、お子さんが活躍する姿をお届けすることができ、良かったと思います。



【1年生が台紙を作成し、6年生の阿部さんが字を書きました。達筆です！】

さて、上の写真は、6年生の運営委員会が考えた運動会のスローガンです。児童の願いのとおり、この運動会では、児童も教師も本気になり、勢いよく前進する場面がたくさん観られました。今年の運動会について、3つお話しします。

### 内容の精選

今年度の運動会では、コロナ禍により、半日開催で計画するにあたり、次の内容を実施しませんでした。

- ・入場行進
- ・入退場門及び入退場
- ・来賓・敬老席、来賓紹介（市内統一）
- ・国歌
- ・校歌
- ・運動会の歌
- ・得点競技（学年種目、全校種目）
- ・新入児種目
- ・PTA種目
- ・万国旗掲揚
- ・親子昼食

現在、教育現場では「学校行事の見直し」が求められています。具体例として、昨今、安全確保の観点から「組体操」がなくなったことが挙げられます。コロナ収束後の運動会では、従来の形に戻すのではなく、学校の教育活動として必要か否かを見定め、内容を精選していく必要があります。保護者のみなさんには、今年の運動会を参観してのご意見やご感想をいただけると幸いです。

### 応援団が活躍する意味

団長の秋田さん、梅宮さんを中心に、応援団が運動会を盛り上げてくれました。保護者の中には「得点種目も無いのになぜ応援団がいるの？」と思われる方もおられるのではないのでしょうか。

応援は「運動」ではありません。しかし、新しい学習指導要領では、「する・みる・ささえる・知る」という体育の見方・考え方が示されました。これにより、体育の学習では、運動だけでなくスポーツと多様に関わることが重視されるようになりました。応援団の応援により、参観者が関心をもって見たり、競技者の心が支えられたりしたのであれば、応援は立派な「体育の学習内容」です。このため、得点種目がなくても応援団が活躍する意味があるのだと思います。

### 上級生への憧れ



【5・6年生が自分たちで振り付けを考えた「未来へ」】

どの学年も、練習段階から表現への取組が素晴らしかったです。当日も「元気いっぱい1・2年生」「力強く迫力満点の3・4年生」「表現力豊かな5・6年生」の演技を観ることができました。それ以上に嬉しかったことは、「高学年の表現や応援団がとてもよかった」と低学年や中学年の子供たちが言ってくれたことです。少ない種目の中で、子供たちの心に芽生えた「上級生への憧れ」は栗原小学校の財産です。これからも、高学年の活躍に期待しています。

※お願い

当日撮影した写真について、個人情報保護の観点から、お子さん以外の顔や名前が写っている写真をSNS等に掲載しないよう、ご協力をお願いします。